

# 平成19年3月期 中間決算説明資料



  
JASDAQ上場：証券コード8740

# 目次

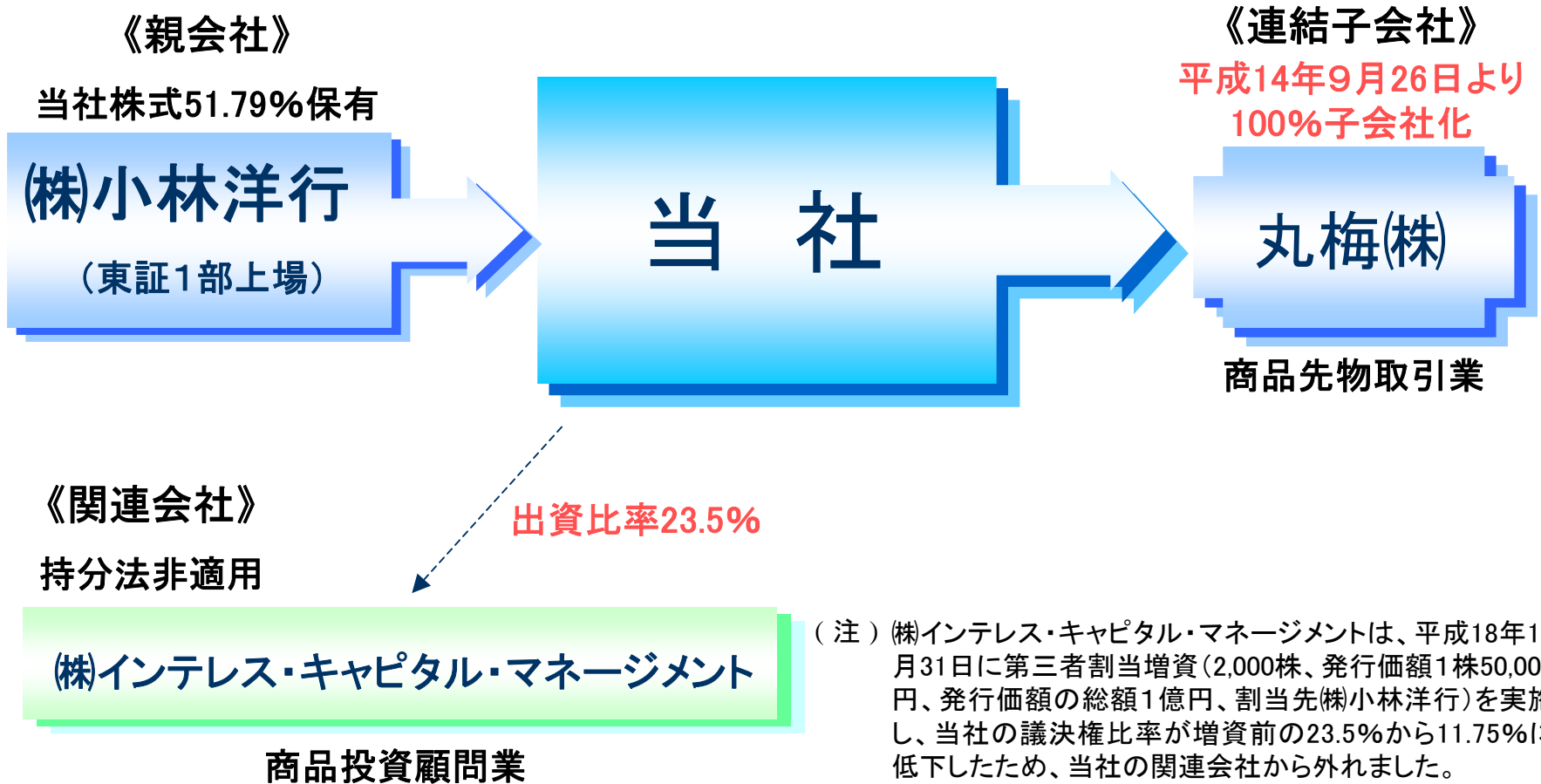
グループ概要	...	1
事業所	...	2
平成19年3月期中間決算について／表紙	...	3
平成19年3月期中間決算の概要	...	4
業績概況(連結)	...	5
業績概況(個別)	...	6
貸借対照表(連結)	...	7
貸借対照表(個別)	...	8
業績推移(連結)	...	9
営業収益の推移(連結)	...	10
四半期ごとの営業収益の推移(連結)	...	11
受取手数料の市場別内訳(連結)	...	12
自己売買損益の市場別内訳(連結)	...	13
平成19年3月期業績予想(連結・個別)	...	14
当社の取り組み	...	15

本資料は、平成19年3月期中間業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

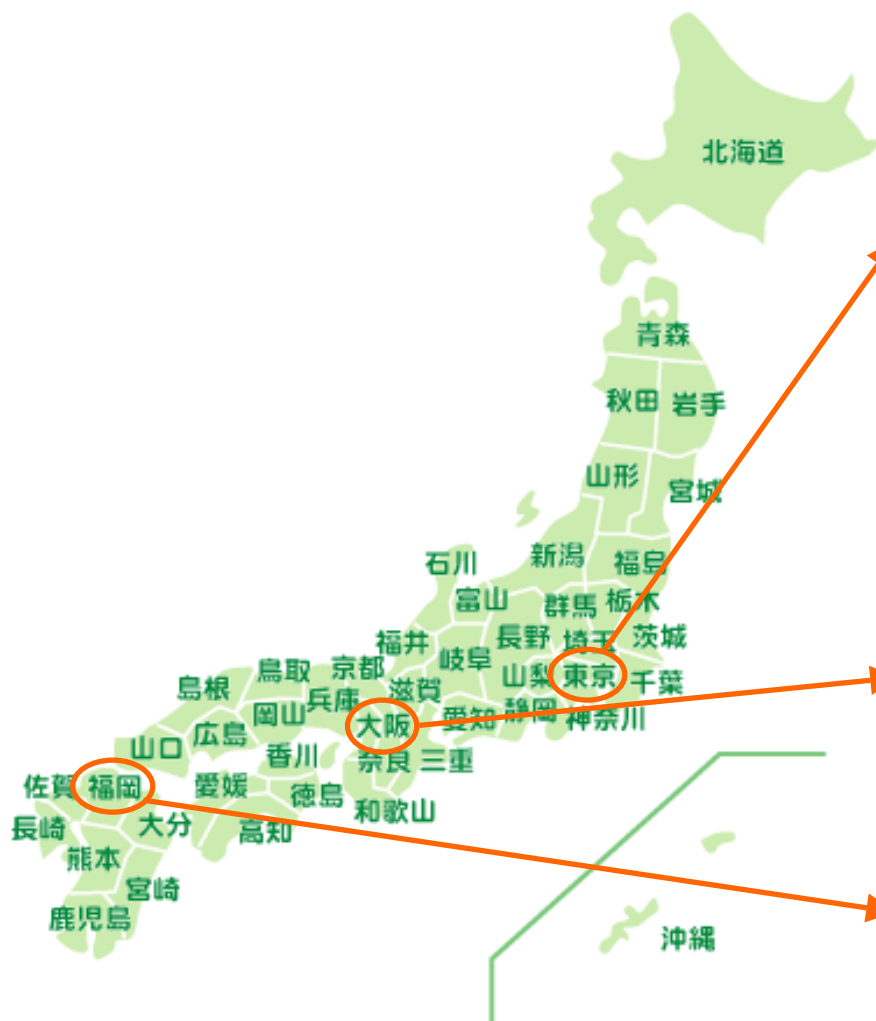
本資料は、9月30日時点でのデータを元に作成しております。

# グループ概要



(注) (株)インテレス・キャピタル・マネージメントは、平成18年10月31日に第三者割当増資(2,000株、発行価額1株50,000円、発行価額の総額1億円、割当先(株)小林洋行)を実施し、当社の議決権比率が増資前の23.5%から11.75%に低下したため、当社の関連会社から外れました。

# 事業所



## <東京地区>

本 社:東京都新宿区大久保1-3-17  
 渋谷支店:東京都渋谷区恵比寿4-3-8  
 子 会 社:丸梅株式会社  
 東京都中央区日本橋兜町7-2

## <関西地区>

大阪支店:大阪市北区曾根崎新地2-1-23  
 難波支店:大阪市中央区難波4-4-4

## <九州地区>

福岡支店:福岡市中央区天神2-14-13

# 平成19年3月期 中間決算について



# 平成19年3月期中間決算の概要

## <当社グループの営業成績>

商品取引所法の改正による勧誘規制強化の厳格な運用へ向けた動きが強まり、全国商品取引所の出来高減少(前年同期比8.8%減)など、商品先物市場の縮小傾向が続くなか、当中間期の当社グループの業績は、受託業務の管理及び顧客サービスの一層の充実と自己売買部門の売買益確保に注力した結果、次のとおりとなりました。

営業収益	2,019百万円	(前年同期比	16.2%増)
経常利益	347百万円	(同	279.4%増)
中間純利益	215百万円	(同	1,162.3%増)



## <業務別の概況>

商品先物取引の受託業務につきましては、農産物市場と貴金属市場の取扱が伸びたものの、石油市場が落ち込み、受取手数料は1,280百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

商品先物取引の自己売買業務につきましては、農産物市場を中心に好調に推移し、売買益738百万円(前年同期比92.3%増)を確保し、大幅な増収となりました。

## <子会社丸梅(株)の概況>

農産物市場(大豆・トウモロコシなど)の受託業務が順調で、次のとおりの業績となりました。

営業収益	548百万円	(前年同期実績	351百万円)
経常利益	128百万円	(同	△10百万円)
中間純利益	89百万円	(同	△19百万円)

## 業績概況（連結）

（単位：百万円）	H17. 9期	H18. 9期	対前年比（%）
営業収益	1,737	2,019	116.2
内 受取手数料	1,320	1,281	97.0
営業利益	51	314	613.5
経常利益	91	347	379.4
当期純利益	17	215	1,262.3
一株当たり中間純利益	2.49円	31.38円	1,262.3
一株当たり純資産額	1,152.13円	1,193.50円	103.6
自己資本比率	52.8%	60.2%	(points) +7.4

## 業績概況（個別）

（単位：百万円）	H17. 9期	H18. 9期	対前年比（%）
営業収益	1,385	1,471	106.1
内 受取手数料	1,017	828	81.4
営業利益	64	186	291.3
経常利益	129	218	169.2
当期純利益	63	126	197.8
一株当たり中間純利益	9.30円	18.39円	197.8
一株当たり純資産額	1,090.43円	1,132.49円	103.9
自己資本比率	62.0%	70.9%	(points) +8.9



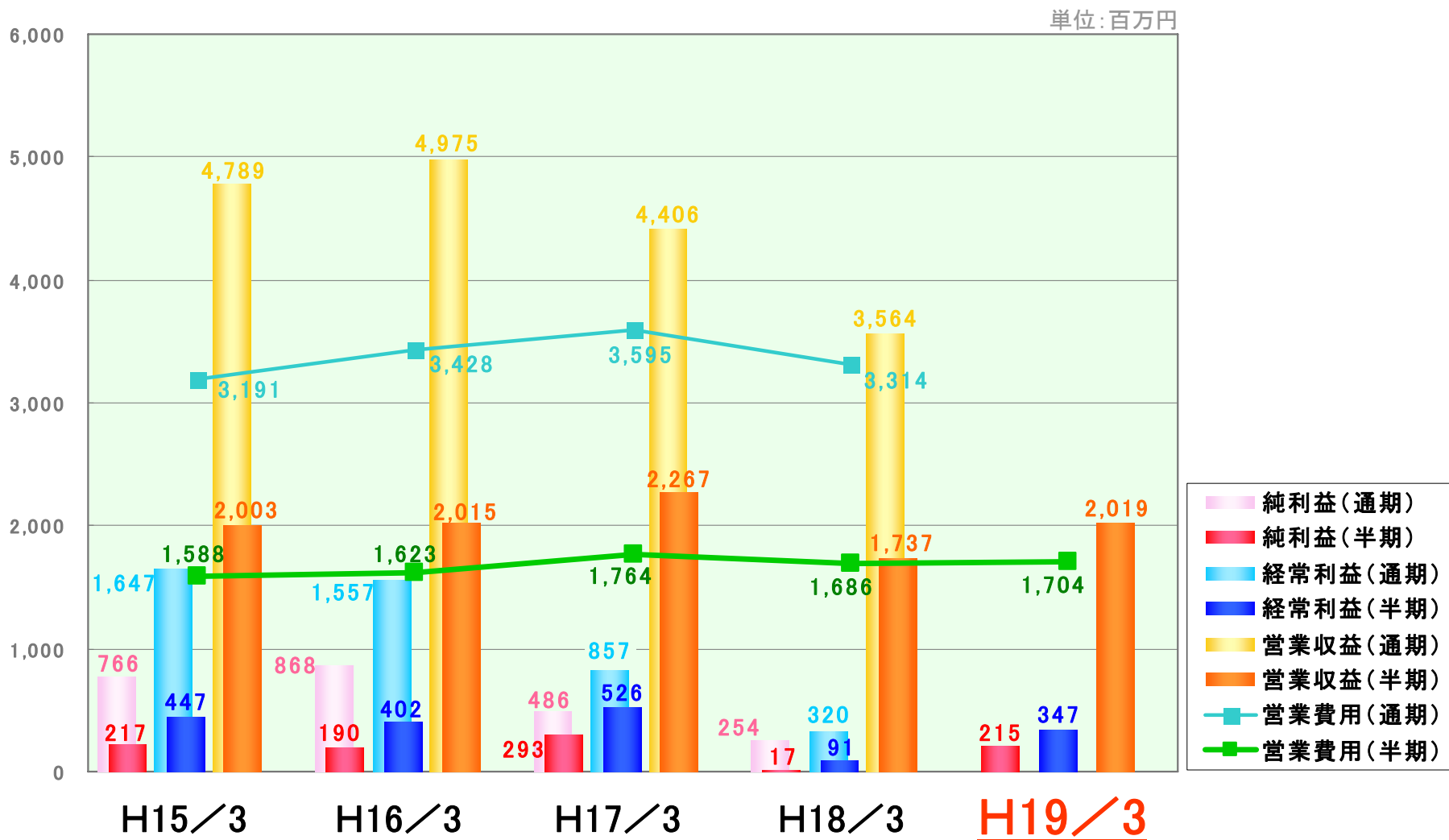
# 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)	H17. 9期	H18. 9期	対前年比(%)
流動資産合計	10,893	9,696	89.0
内 現金及び預金	5,155	4,991	96.8
固定資産合計	4,076	3,898	95.6
内 投資有価証券	1,378	1,343	97.5
内 投資不動産	903	889	98.5
資産合計	14,970	13,595	90.8
流動負債合計	6,029	4,517	74.9
内 預り証拠金	5,650	4,136	73.2
固定負債合計	608	740	121.6
負債合計	7,066	5,408	76.5
純資産合計	7,903	8,187	103.6
内 有価証券評価差額金	534	516	96.6

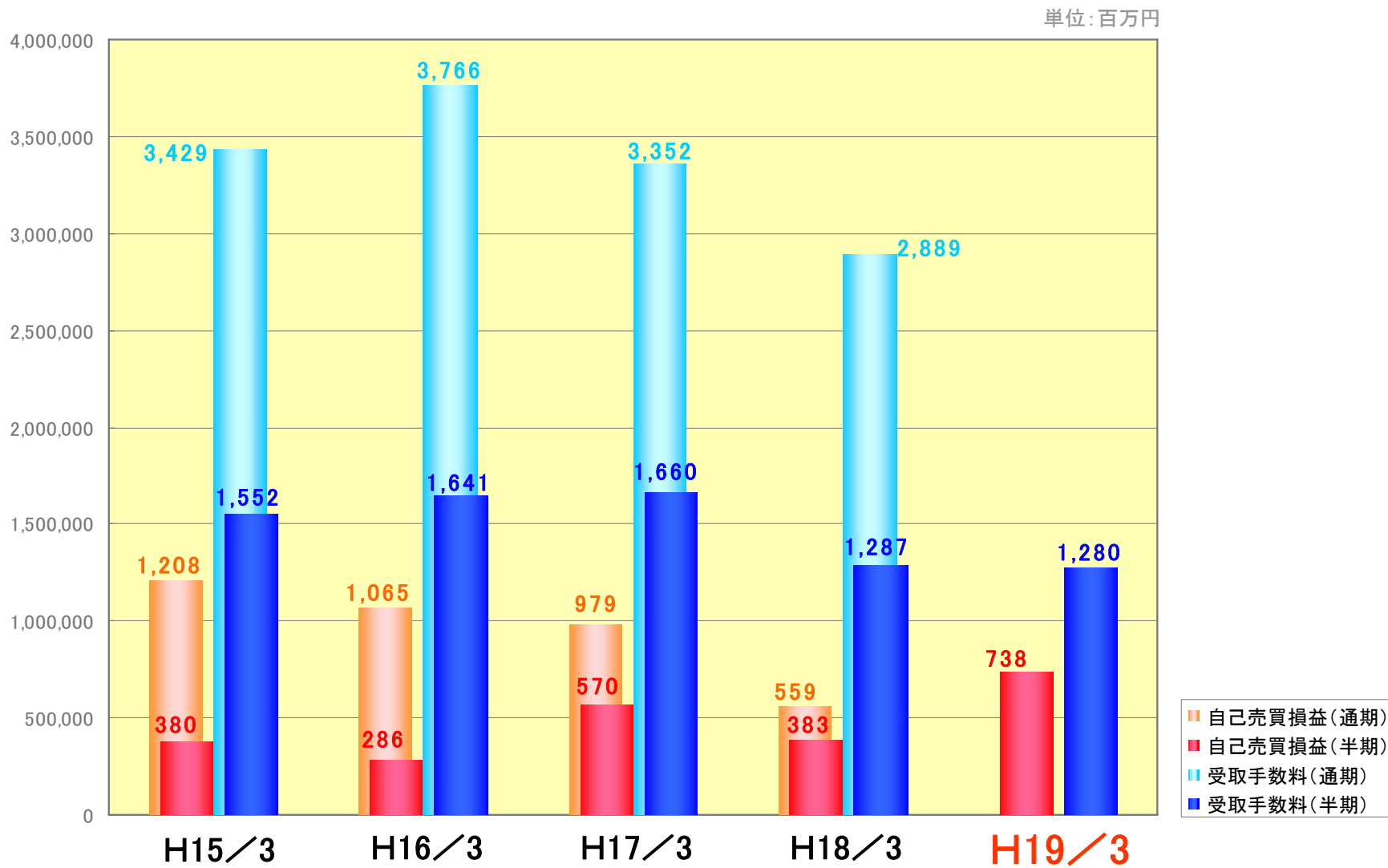
# 貸借対照表(個別)

(単位:百万円)	H17. 9期	H18. 9期	対前年比(%)
流動資産合計	7,547	6,566	87.0
内 現金及び預金	4,369	4,060	92.9
固定資産合計	4,520	4,394	97.2
内 投資有価証券	1,323	1,288	97.4
内 投資不動産	903	889	98.5
資産合計	12,068	10,960	90.8
流動負債合計	3,760	2,456	65.3
内 預り証拠金	3,454	2,150	62.3
固定負債合計	458	612	133.7
負債合計	4,587	3,191	69.6
純資産合計	7,480	7,768	103.9
内 有価証券評価差額金	534	516	96.6

# 業績推移（連結）

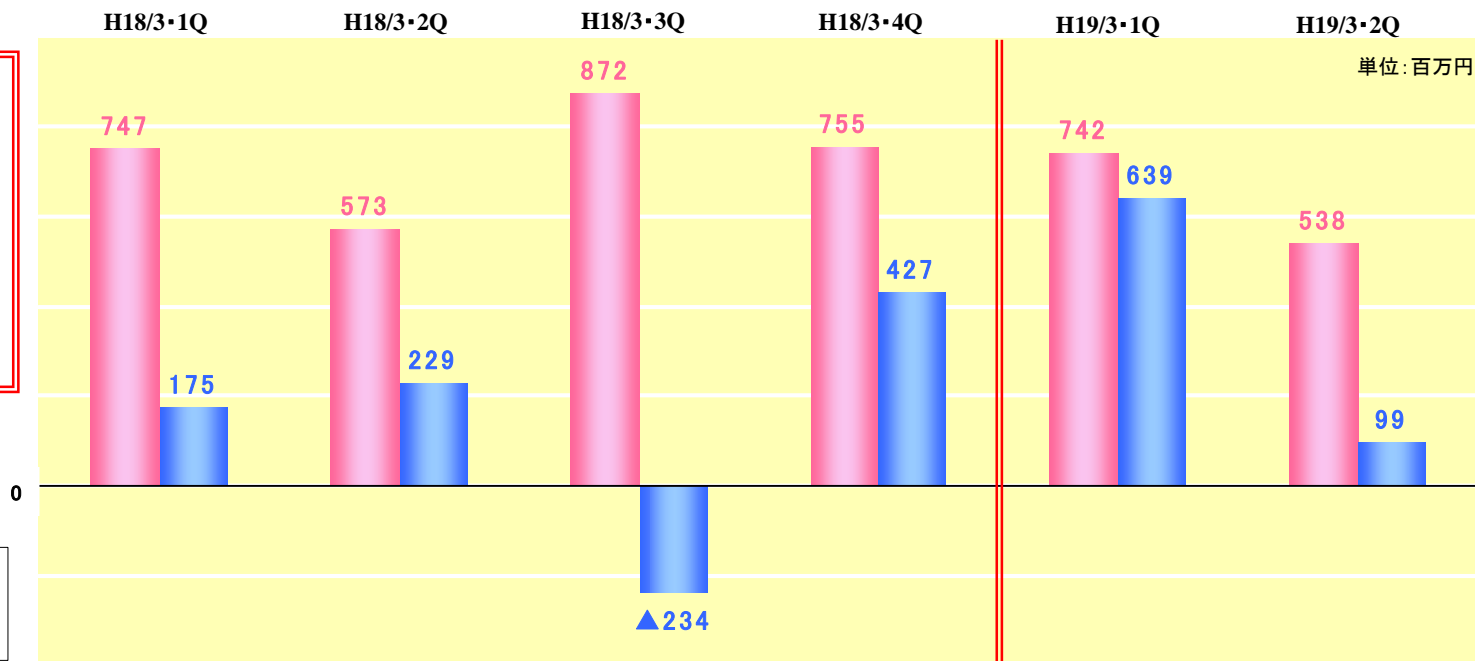


# ＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)



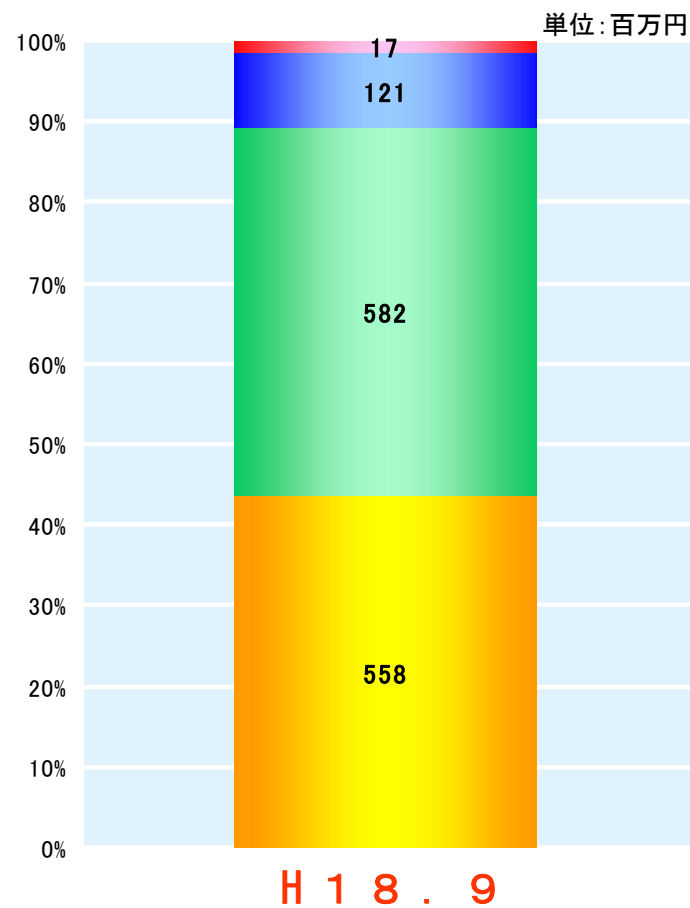
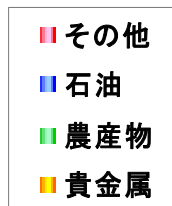
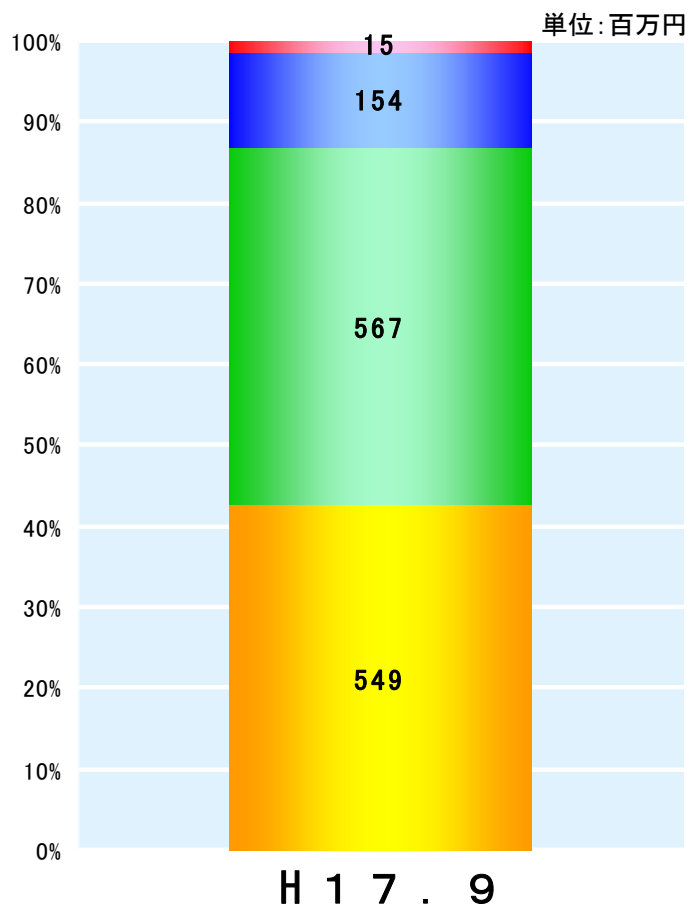
# 四半期ごとの営業収益の推移(連結)

当社グループの業績は、市場動向に左右されるため、四半期毎など短期では大きく変動しております。

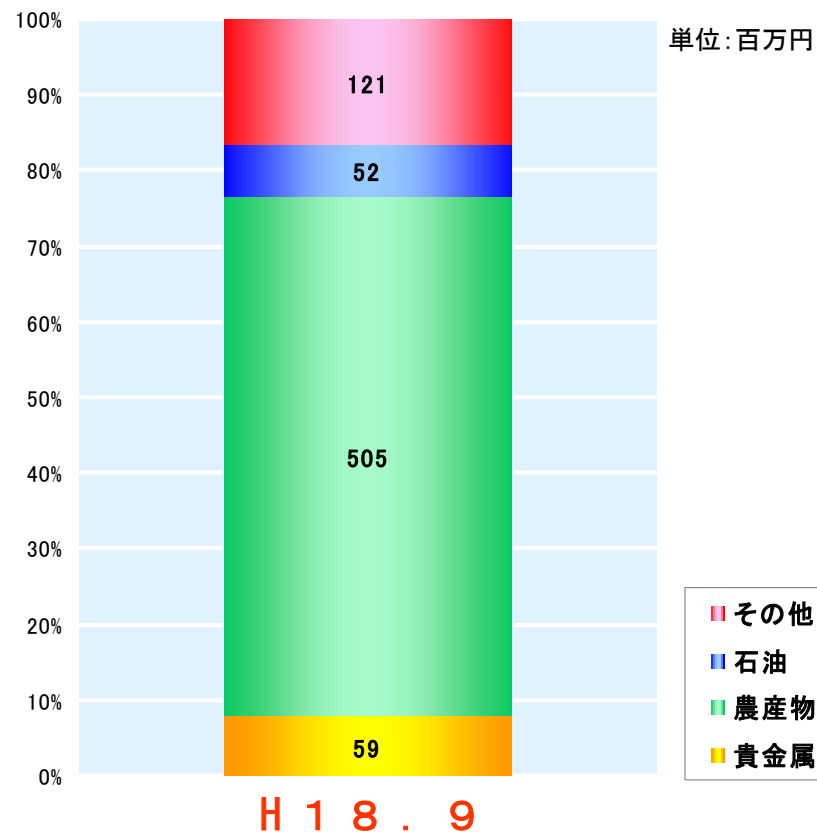
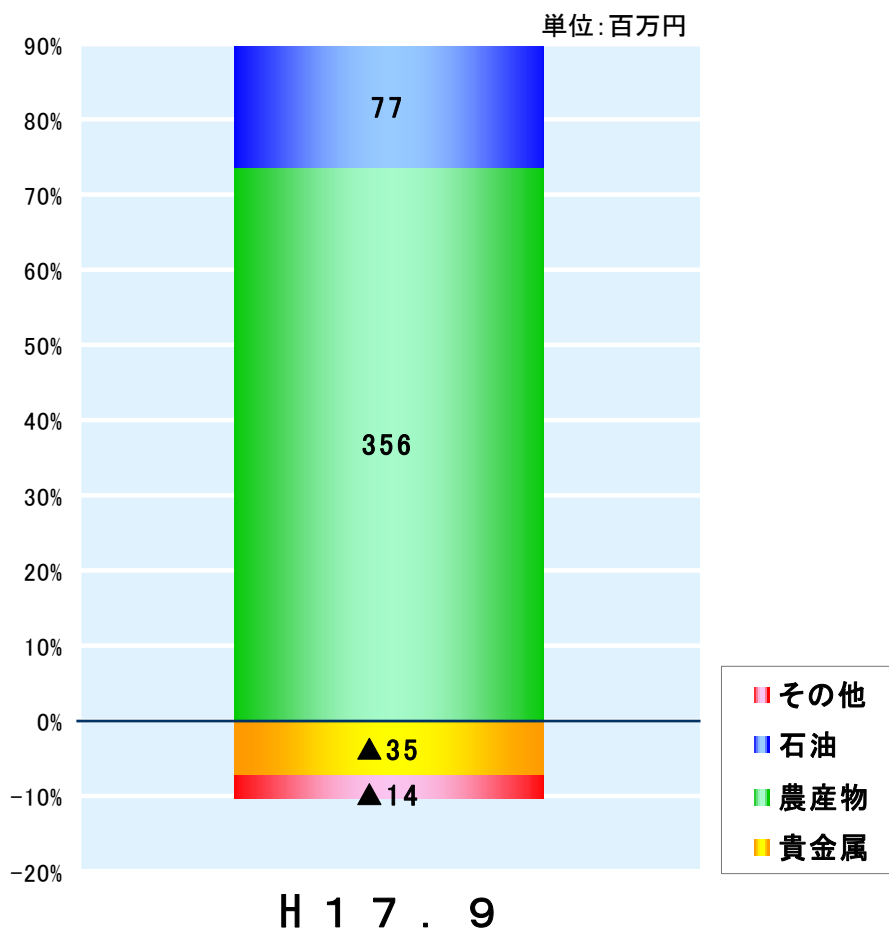


(単位:百万円)	H18/3 1Q	H18/3 2Q	H18/3 3Q	H18/3 4Q	H19/3 1Q	H19/3 2Q
<b>受取手数料</b>	747	573	872	755	742	538
商品先物取引	734	553	847	754	741	538
外国為替証拠金取引	13	1	24	-	-	-
商品ファンド	0.0	0.4	0.3	0.8	0.2	0.3
<b>売買損益</b>	175	229	▲234	427	639	99
商品先物取引	168	215	▲252	427	639	99
外国為替証拠金取引	7	13	17	-	-	-

# ＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳（連結）



# ＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳(連結)



# 平成19年3月期業績予想(連結・個別)

## 連結

(単位:百万円)	H18. 9中間予想	H18. 9中間実績	H19. 3期予想
営業収益	1,788	2,019	3,576
経常利益	334	347	668
当期純利益	195	215	390
一株当たり当期純利益	28.42円	31.38円	56.85円

## 個別

(単位:百万円)	H18. 9中間予想	H18. 9中間実績	H19. 3期予想
営業収益	1,353	1,471	2,706
経常利益	280	218	560
当期純利益	165	126	330
一株当たり当期純利益	24.05円	18.39円	48.10円

商品先物市場の出来高の減少など厳しい業界環境が下期も続くものと思われませんが、平成19年3月期通期の業績予想につきましては、5月18日付平成18年3月期決算短信で発表した予想業績を修正せず、上記予想の達成を目指していく方針であります。



# 当社の取り組み

## 1. 商品先物取引受託業務の収益力維持

営業拠点の集約による効率化  
顧客サービスの向上のための社員教育の充実

## 2. 商品ファンドの販売 および オンライン取引の強化

商品ファンド（第2弾）「福祿寿」を販売開始（5月）  
ホームトレートシステムの改善（オンライン口座開設など）

## 3. 自己売買部門の強化

ディーリング要員の育成

## 4. 営業収益に見合った費用構造の再構築

平成19年3月期の営業費用（個別）前期比3億円削減  
（店舗閉鎖等の効果及び経費の見直し）

商品先物取引業界を取り巻く環境は、手数料の完全自由化や改正商品取引所法の施行により、**当面、やや厳しい状況が続くと思われ**ますが、BRICSなどの需要増加による原油など国際商品への注目度の高まりや、市場の信頼性向上など取引環境の整備、などで、**中期的には、わが国先物市場は発展していくものと考えております。**

当社グループは、サービスの向上による顧客満足度のアップに努め、商品先物市場と共に、成長を目指します。



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 フジトミ

経営企画室

E-mail : [keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp](mailto:keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp)